

病院を受診された患者さまへ

2023年10月06日

当院では機関長の許可を得て、下記の臨床研究を実施しております。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で、診療情報等を研究目的に利用または提供されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にお問い合わせください。

研究課題名 (研究番号)	乳がん患者における妊孕性温存療法とその後の妊娠・出産・乳がん再発に関する検討
当院の研究責任者 (所属)	銘苅桂子 (琉球大学病院 周産母子センター 教授)
他の研究機関および 各機関の研究代表者	該当なし
本研究の目的	妊孕性温存療法を希望した乳がん患者さまを対象に、妊孕性温存実施率とその治療内容、がん治療中断の有無、その後の妊娠・出産・乳がん再発の状況を後方視的に調査し、今後の乳がんの妊孕性温存療法希望患者さま・パートナーの意思決定のための情報提供に役立てます。
研究実施期間	研究機関の長の許可日～ 2025年12月31日
調査データ(該当期間)	2013年1月～2022年12月の期間の情報
研究の方法 (利用する試料・情報等)	<p>●対象となる患者さま</p> <p>①2013年1月から2022年12月の期間に妊孕性温存療法を希望して琉球大学病院の産科婦人科外来に紹介となった患者さま</p> <p>②乳がんもしくは乳がん疑いの患者さま</p> <p>③がんの主治療開始前、開始中、開始後、再発後、いずれの患者さまも対象</p> <p>④初診時年齢が20歳から50歳まで</p> <p>●利用する試料・情報</p> <p>カルテ情報を利用します。</p> <p>①基本情報：生年月、身長、体重、妊娠出産歴、婚姻歴、不妊期間、不妊治療歴</p> <p>②がん治療に関わる情報：診断名、病期分類、病理組織診断、がん治療内容、再発の有無</p> <p>③妊孕性温存療法に関わる情報：卵巣刺激法、採卵数、凍結胚数、凍結卵子数、採卵合併症</p> <p>④妊娠出産に関わる情報：妊娠出産の有無、不妊治療の有無、凍結卵子・胚利用の有無</p>

試料/情報の 他の研究機関への提供 および提供方法	他の研究機関への提供はありません。
試料・情報の二次利用	二次利用はありません。
個人情報の取り扱い	調査により得られた研究対象者の情報を扱う際は、個人情報とは関係のない符号または番号を付して匿名化とし、産科婦人科医局で管理します。匿名化に用いる対応表は、医局内の施錠できる書庫で管理します。論文作成時、また学会発表時には個人が特定できる情報は一切用いません。
本研究の資金源 (利益相反)	研究責任者が所属する講座の奨学寄付金で実施します。 (この研究に関わるスタッフは所属機関の規定に従い、事前に審査を受け、問題となる利害関係が存在しないことを確認されています。)
お問い合わせ先	電話：098-895-3331（代表） 産婦人科外来（内線 1312） 担当者：琉球大学病院 産婦人科 仲村理恵
備考	